豊田市石畳ふれあい広場長期計画

令和3年3月

白紙

目次

１．はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２．豊田市観光実践計画概要・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
３．藤岡地区まちづくりビジョン概要・・・・・・・・・・・・　3
４．ふじおか回遊促進計画概要・・・・・・・・・・・・・・・　4
５．藤岡地区と各地区の人口推移・・・・・・・・・・・・・・　6
６．石畳ふれあい広場利用者数の推移・・・・・・・・・・・・　7
７．近隣地区の観光施設利用者数の推移・・・・・・・・・・　8
８．ふれあい広場の年間恒例催事・・・・・・・・・・・・・・　9
９．ワークショップ開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・　10
１０．ワークショップ結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・　11
１１．課題とめざす方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
（１）各計画やワークショップから導き出された課題・・16
（２）めざす方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
１２．長期計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
（１）取組の柱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
（２）指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
（３）具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
（４）事業スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
（５）ふれあい広場全体景観の将来イメージ・・・・・　20
（６）足湯話題づくりの演出イメージ・・・・・・・・・・21
（７）事業化への検討項目・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

白紙

１．はじめに

豊田市石畳ふれあい広場長期計画策定業務の目的

本計画は、平成28年度から進められている藤岡地域核地区における都市再生整備事業を、藤岡地域全体の活性化に波及させようと、平成30年度に策定済の「ふじおか回遊促進計画」の中に位置づけられた石畳足湯の有効活用を推進するため、石畳ふれあい広場全体の現状を踏まえ、さらなる集客を図ると共に、将来にわたって地元住民に活用され、親しまれる空間となるための指針を示すことを目的としています。

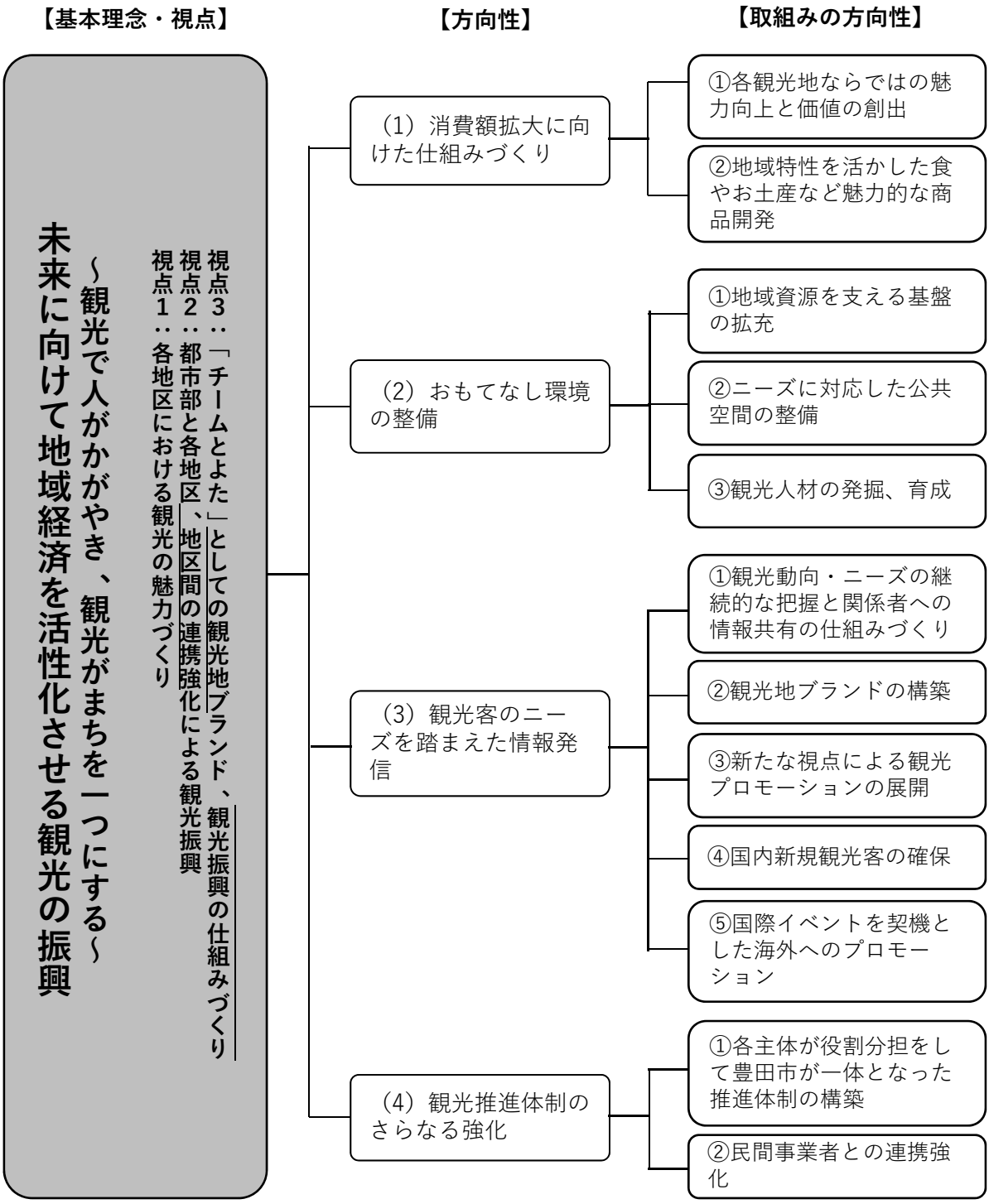
このため令和2年度において、現状把握と更なる魅力向上を図るために地元関係者で構成されたワークショップを4回実施し、現状の利用状況、問題・課題の洗い出し、新たなソフト事業の検討、魅力向上につながる環境整備の検討等を進めてきました。

このワークショップの意見交換を基に計画の取りまとめをするにあたり、議論された事業等の内容は多岐にわたることから、一定の期間を要するものと判断し、長期計画の期間を10年間と想定しました。

2．豊田市観光実践計画概要

「豊田市観光実践計画2018-2020」は、前計画である「豊田市観光交流基本計画」の策定から10年が経過をしたことを契機に、平成28年（2016）年度に実施した観光基礎調査の結果等を基に、今後3年間に実施する観光施策や各主体の行動を示す計画として、新たに策定されたものです。（計画期間：2018～2020年）

計画では基本理念のサブフレーズで「観光で人がかがやき、観光がまちを一つにする」とあり、視点において「観光の魅力づくり」「地区間連携」「観光振興の仕組みづくり」による観光の活性化をめざすとしています。



３．藤岡地区まちづくりビジョン概要

藤岡地区まちづくりビジョンは「“人を育て人が育つ創造のまち”を実現する」のテーマを掲げており、本計画策定において、特に関連する内容として、「人づくり」「生きがいづくり」「地域で支えあう子育て」「地域資源の活用」等に留意すべきと考えます。

「やろ！Myふじおか」　“人を育て人が育つ創造のまち”を実現する

基本方針１　ひとりひとりが夢を持って活躍できるふれあいのまち（教育）

（１）地域を担う人づくり
ア　伝統文化の保存と継承　（伝統文化の保存継承に繋がる人づくり・名所旧跡、郷土の歴史の保存継承）
イ　幅広い人材発掘と活用　（わくわく事業の活用促進・地域リーダーの発掘、育成・人材バンクの検討）
ウ　各種研修や講座の実施　（交流館講座及び実習機会の充実）
（２）夢を持てる生きがいづくり
ア　夢の実現への支援　（多様な夢を持つためのきっかけ作り）
イ　高齢者が元気なまち　（子どもの登下校見守りなど地域ボランティアの機会づくり・農産物直売所の活用）
ウ　健康サポートの工夫　（ウォーキングコースの設置活用・軽スポーツの普及）
エ　開かれた学校の実現と支援　（「おらが学校」意識向上・学校での学習支援・学校花壇や地域花壇の充実　・放課後児童クラブの条件緩和）

基本方針２　美しい川と里山に囲まれ、地域で支えあう安心安全なまち（環境）

（１）自然環境の保全
ア　美しい里山の再生　（里山林の整備、再生・ゴミ不法投棄の防止）
イ　水に親しむ環境づくり　（子どもが遊べる川づくり・ホタルが住める川づくり）
ウ　獣害対策の拡充　（有害鳥獣駆除への支援）
（２）生活環境の充実
ア　交通環境の整備　（交差点や歩道の改良・安全な通学路の確保・交通安全意識の啓発・バス利便性の向上）
イ　地域防犯力の向上　（自主防犯会への支援・危険個所の対策・見回りパトロールの強化・意識啓発と防犯用具の活用）
ウ　防災体制の強化　（自主防災会や消防団の活動支援・災害に対する意識啓発と家庭の備えの充実・要援護者の支援体制）
エ　地域で支えあう子育て　（安心の遊び場の充実・見回り、育児相談ネットワークの推進）
オ　高齢者の生活支援　（生きがい、社会参加の機会創出・見守りネットワーク・集まれる場所づくり）

基本方針３　地域資源を活かした、持続可能な活力あるまち（地域活性化）

（１）地域資源の活用
ア　石畳ふれあい広場の拡充　（地域の交流拠点としての施設整備・健康増進イベントの検討）
イ　わくわく事業による地域活性　（わくわく事業のPR・わくわく事業団体の発掘、育成・わくわく事業団体間の連携強化）
ウ　藤岡の自慢できるのもづくり　（ふじのあるまちづくり・ふじおか特産品の開発・あらゆる世代が参加できる話題イベントの検討）
エ　地域情報の発信、共有　（地域情報をまとめた冊子づくり・地域イベントで活用できるPRグッズの検討・ITによる情報発信の強化）
（２）過疎対策
ア　藤岡への人口流入の推進　（地域での新しい雇用創出の検討・空き家など入居可能な住宅の活用の検討）
イ　便利で生活しやすいまちづくり　（買い物しやすい仕組みの検討・救急医療体制の検討・自治区活動の活性化）

4．ふじおか回遊促進計画概要

「ふじおか回遊促進計画」は、都市再生整備事業が進められている中で、活性化の効果を藤岡地域・藤岡南地域内に波及させるために、藤岡地域・藤岡南地域内の資源を活かして地域の魅力を積極的にアピールし、藤岡地域・藤岡南地域内外における回遊を促進してくことを目的として計画されたものです。（計画期間：2019～2023年）

計画では、基本的な考え方で「ふじおかの魅力や資源をストーリーでつなぎ合わせて発信する」として「プラン2の石畳足湯の有効活用」への取り組みを推進するものとしています。

【将来の目指す姿】
地域資源を中心に、住む人・訪れる人がつながる　好きになるまち　ふじおか
～なんかいいね！ふじおか～

【基本的な考え方】“ふじおかの魅力や資源”をストーリーでつなぎ合わせて発信する

【基本方針】

〈方針１〉
地域資源の観光的な演出と体験等の提供

〈方針２〉
ふじおかをPRするイベント等の実施

〈方針３〉
季節ごとの魅力・見どころの情報発信

【回遊促進事業計画】

①自然を活かしたアクティビティの開発・提供と環境整備
②歴史文化・伝統芸能を活かした体験プログラムの開発・提供と環境整備
③足湯の有効活用と環境整備

①緑化センターや農村舞台などを活用したイベントの企画・開催
②自然を活かしたイベントの企画・開催

①季節ごとの「ウォーキング・サイクリングコース・ドライブコース」設定とマップ作成
②景観・眺望ポイント・写真撮影スポットの魅力や楽しみ方の紹介
③食べ物、スイーツ、名産品の紹介

プラン１
ウォーキング・サイクリング・ドライブによる回遊性向上

プラン２
石畳足湯の有効活用

プラン３
伝統芸能・地域資源を活かした体験プログラムの開発

■プラン２　石畳足湯の有効活用（プラン1及びプラン3は省略）

プラン2石畳足湯の有効活用として「基本的な考え方」には、既存イベントとの連携・さらなる集客の促進・経済的な効果を高めるという3つの柱を設定しています。

【基本的な考え方】

◆朝市等の<u>既存のイベントとも連携</u>
◆藤岡・藤岡南地域外からの立ち寄り客など、<u>さらなる集客を図る</u>
◆体験プログラムの受け入れや特産品の販売等により<u>経済的な効果も高める</u>

【具体的な取組】

①足湯を中心とした観光演出・環境整備

主な取組	実施主体	2019	2020	2021	2022	2023
季節に応じた石畳足湯の装飾	地域住民	検討 試行	実施	→	→	→
朝市等の既存イベントと連携した石畳足湯を絡めた新しいイベントの企画・実施	地域住民	―	検討 試行	実施	→	→
石畳ふれあい広場の魅力向上につながる環境整備	行政	検討	整備			

②食・特産品の開発・提供

主な取組	実施主体	2019	2020	2021	2022	2023
視察・勉強会の開催	行政	―	実施			
商品の開発・提供	地域住民 観光協会 学校	―	検討 試行	提供	→	→

5．藤岡地区と各地区の人口推移

■人口・世帯

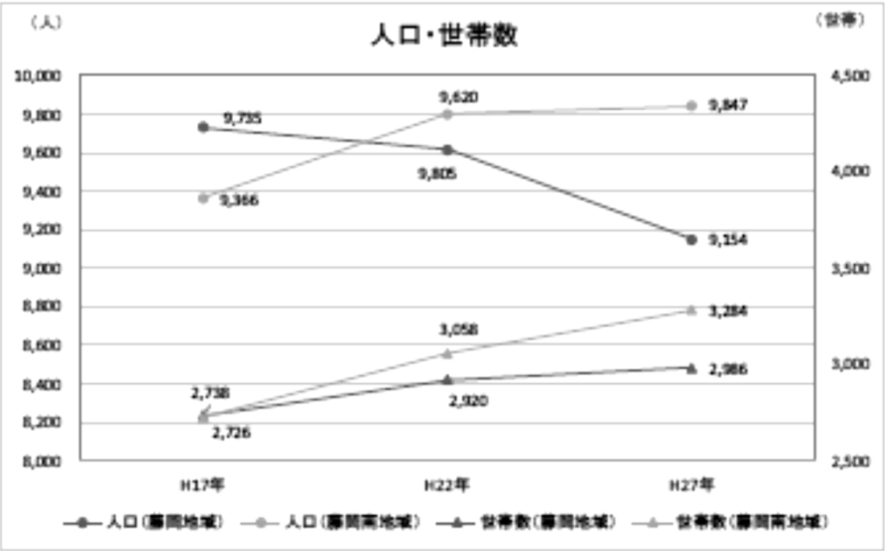
藤岡地区の人口は、平成22年で19,425人をピークに平成27年では19,097人となっている。世帯数は増加傾向で、平成27年では6,299世帯となっている。

各地区（豊田地区除く）の人口と比較しても藤岡地区が一番多く、各地区の人口は減少傾向となっており、世帯数は減少または横ばいの傾向となっている。

地域別の人口の推移をみると藤岡地域は減少傾向にあり平成17年と比較して、平成27年では9,154人（-5.9%）となっている。藤岡南地域は増加傾向にあり平成27年では9,847人（5.1%）となっている。

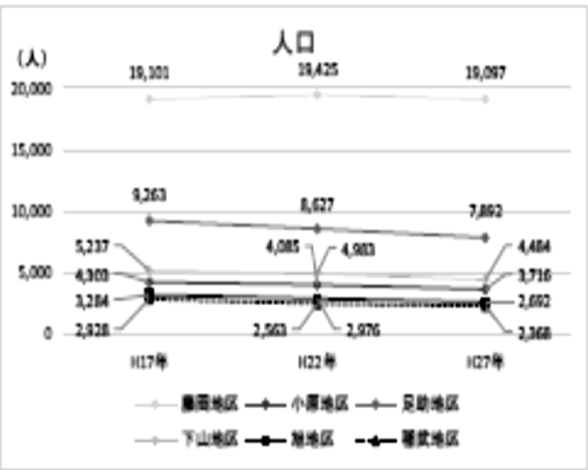
資料：藤岡商工会　商業活性化計画より抜粋

【藤岡地域と藤岡南地域の人口・世帯の推移】

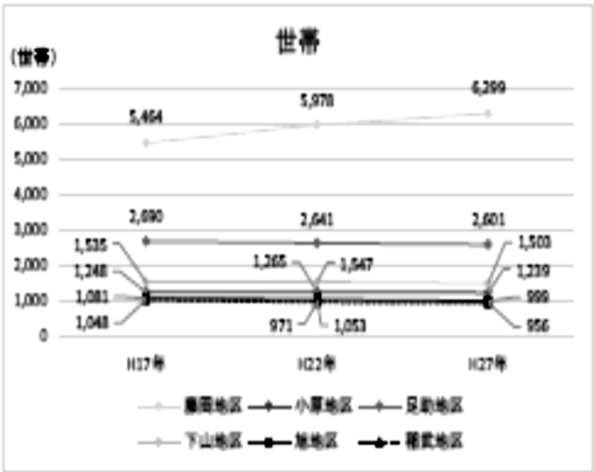


出典：国勢調査

【各地区における人口・世帯の推移】



※豊田地区除く



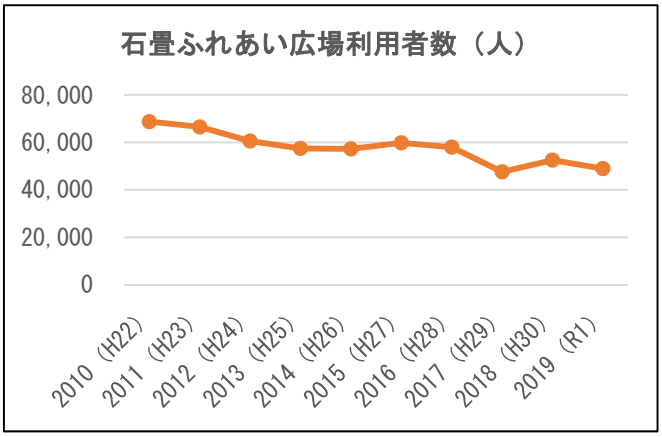
※豊田地区除く

6．石畳ふれあい広場利用者数の推移

石畳ふれあい広場の利用者数の推移は、2010年（平成22年）の68,747人をピークに、年々減少傾向となっている。2019年（令和元年）では、48,938人となっており、10年間で約3割の減少となっている。

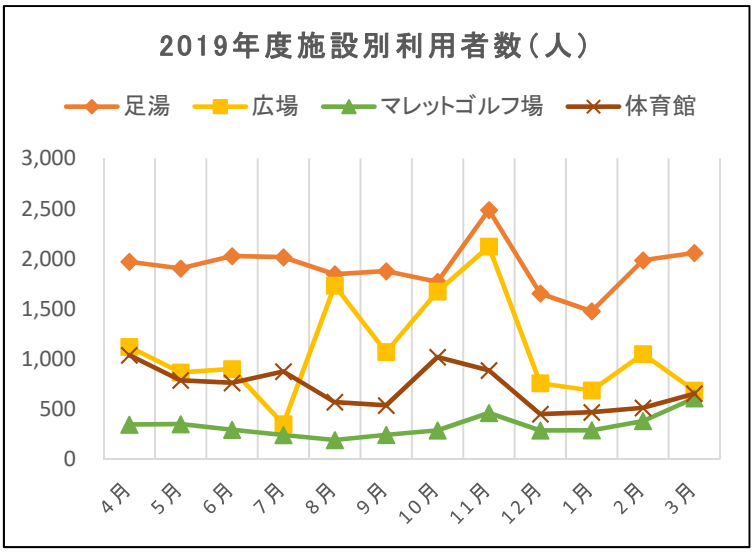
2019年度の施設別の利用者数の月別推移では、「足湯」が最も利用が多く、「マレットゴルフ場」は利用が最も低い。「広場」と「体育館」は、月によって変動幅が大きい。この原因として、「広場」は天候に左右されることと恒例の催事実施月によるものと考えられる。また、「体育館」は近隣小学校の施設の休館等により、利用が増える時期として4月及び10月、11月が多くなると考えられる。

また、それぞれの施設利用者は、一つの施設利用に留まり、他の施設への回遊はあまりないと考えられる。



資料：
愛知県観光レクリエーション利用者統計

年	2010（H22）	2011（H23）	2012（H24）	2013（H25）	2014（H26）	2015（H27）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（R1）
利用者数（人）	68,747	66,493	60,537	57,439	57,252	59,806	57,968	47,595	52,532	48,938



資料：
藤岡支所調べ

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
足湯	1,970	1,904	2,027	2,016	1,846	1,877	1,771	2,486	1,654	1,477	1,985	2,059	23,072
広場	1,122	867	900	351	1,733	1,070	1,674	2,122	759	687	1,050	686	13,021
マレットゴルフ場	346	351	295	243	193	244	289	463	288	290	382	610	3,994
体育館	1,039	788	763	876	571	538	1,020	887	451	469	514	655	8,571
月別合計	4,477	3,910	3,985	3,486	4,343	3,729	4,754	5,958	3,152	2,923	3,931	4,010	48,658

7．近隣地区の観光施設利用者数の推移

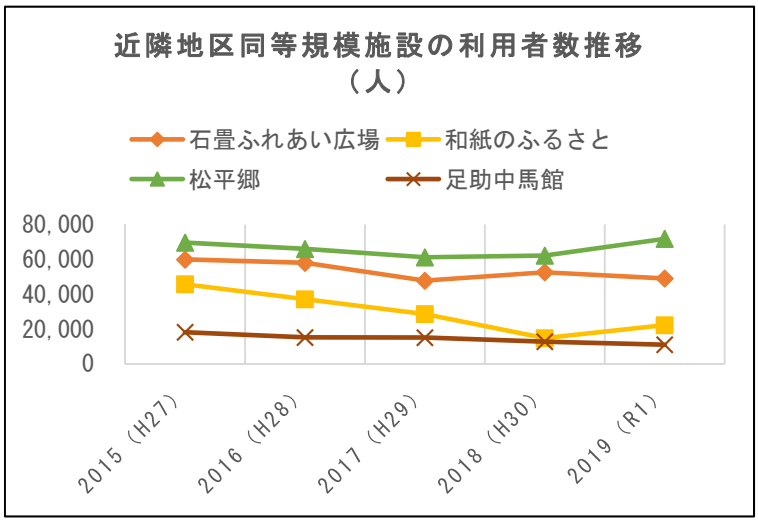
近隣地区の観光施設の利用者数の推移では、石畳ふれあい広場と規模が同等の施設の比較と、近隣地区主要施設を選んで比較とした。

その結果、2015年（平成27）から2019年（令和元年）の5年間の比較推移では、「松平郷」が2018年から2019年にかけて増加しているものの、「石畳ふれあい広場」「和紙のふるさと」「足助中馬館」は共に減少傾向となっている。

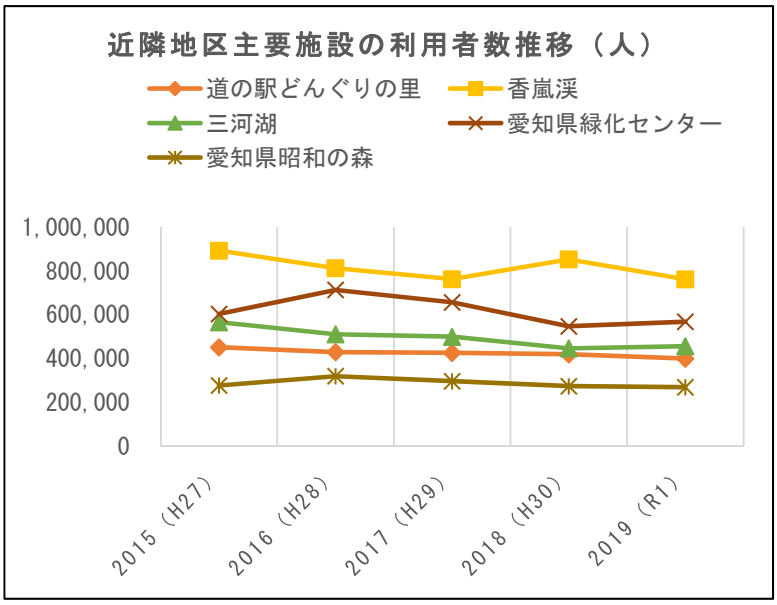
他方で、近隣地区の主要な施設での利用者数は、どの施設も減少傾向が続いている。2015年と2019年の5年間の減少率においては、「香嵐渓」が約14.7％の減少、「愛知県緑化センター」が約5.8％の減少、「三河湖」が約19.4％の減少、「道の駅どんぐりの里」が約11.5％の減少、「愛知県昭和の森」が約2.9％の減少となっている。

参考までに「石畳ふれあい広場」の5年間では約18.2％の減少となっている。

資料：愛知県観光レクリエーション利用者統計



資料：愛知県観光レクリエーション利用者統計



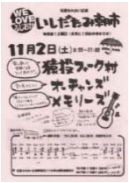
８．ふれあい広場の年間恒例催事

■年間の恒例催事

・毎月の朝市
・毎月のマレットゴルフ大会
・お正月の松飾り（1月）
・花桃まつり（4月）
・盆踊り大会（8月）
・紅葉まつり（11月）
・餅つき大会（12月）
・出張足湯（随時）

〈資料：石畳ふれあい広場　ホームFacebookより〉

〈毎月の朝市〉



〈朝市のアトラクション〉

〈毎月のマレットゴルフ大会〉

〈花桃まつり　4月〉

〈盆踊り大会　８月〉

〈紅葉まつり　１１月〉

〈餅つき大会　１2月〉

〈お正月の松飾り　1月〉

〈出張足湯　随時〉

９．ワークショップ開催概要

長期計画策定にあたって、現状把握とさらなる魅力向上を図るためにワークショップを4回開催しました。

ワークショップの参加者は、藤岡地区地域会議、藤岡南地区地域会議、石畳地域づくり協議会、公募者から選出された11名で構成された。

1回目と2回目はAグループとBグループに分かれ、グループ討議形式で自由な意見交換を行ない、3回目と4回目はスクール形式で事務局の進行で意見交換を実施した。

3回目の会議では、事務局案に対するアンケートも実施した。

開催状況		開催内容
第1回	2020年9月25日（金） 19：00～20：30 藤岡交流館	・石畳ふれあい広場の利用者数動向の説明（事務局より） ・石畳ふれあい広場の使われ方について （足湯・広場・体育館・マレットゴルフ場・駐車場・その他）
第2回	2020年10月22日（木） 19：00～20：30 藤岡交流館	・石畳ふれあい広場の事業実施状況の説明（石畳地域づくり協議会より） ・石畳ふれあい広場の課題について
第3回	2020年11月26日（木） 19：00～20：30 藤岡交流館	・問題、課題整理の説明（事務局より） ・課題解決のためのアイディア事業の提示説明（事務局より） ・包括的な意見交換 ・アンケート実施
第4回	2020年12月17日（木） 19：00～20：30 藤岡交流館	・第3回アイディア事業のアンケート結果説明（事務局より） ・石畳ふれあい広場の今後についての意見交換

10. ワークショップ結果概要

■第１回ワークショップ結果

第1回のワークショップでは「石畳ふれあい広場の使われ方」についての議論を行い主要な意見は以下の通りとなりました。

【施設利用状況の整理】

〈足湯利用状況〉
○地区内、地区外（名古屋、岡崎、瀬戸）からの来訪
○全体的には、地元のリピーターが多い
○温泉水は地下1500mから汲み上げている
○湯温26℃くらいで、効能はわからない

〈ふれあい広場利用状況〉
○月1回の「朝市」をやっている。ステージイベントも同時開催
○出店者は自家用車の乗入れで月額500円の出店料を支払っている。
○出店内容はフリーマーケット系が多い（48区画中、平均30区画が出店）
○地区外からの出店が多い
○夏まつり、もみじまつりなどの時には広場が使われている
○屋外健康器具が常設されている
○時にはバーベキューもやっている
○広場の利用者数は2019年度で、13000人程度
○この内、イベント時で8000人、それ以外で5000人

〈マレットゴルフ利用状況〉
○地元クラブ会員のみの利用で、1回に40人程度の参加
○会員は76名、平均年齢76歳、藤岡地区に140名いる
○地区内には7～8のチームがある
○月に2回の大会で、年間25回ほど開催
○会員はそれぞれの時間で練習に利用している
○利用時間は、1～2時間程度で、人数は10人程度

〈体育館利用状況〉
○地区住民が使っている
○バレーボール、バスケットボール、インディアカ、ドッジボールなど
○予約制で、結構埋まっている
○ママさん、子どもなどの利用が多い
○剣道合宿や地区老連の軽スポーツ大会がある
○小学校が使用できない時期の４月・10月に利用が多い

〈PR、その他〉
○朝市の発信はSNSでやっている
○LINEは177名が登録
○Facebookは石畳地域づくり協議会が発信している
○チラシ、回覧・掲示している
○ウォーキングコースのスタート地点になっている
○サイクリング利用者もある

■第２回ワークショップ結果

第２回のワークショップでは「施設の問題課題」についての議論を行い主要な意見は以下の通りとなりました。

【問題の整理】

〈運営管理問題〉

○運営要員が不足（普段日とイベント日）
○イベント実施の企画準備が手一杯
○足湯のPRストーリーがない
○貸しタオルや案内チラシなど業務が雑多
○運営を支援する活動母体があった方が良い
○施設運営のコンセプトが見えない
○ターゲットが地元中心なのか、外来も見込むのかはっきりしていない

〈事業展開問題〉

○事業全体のコンセプトが見えない
○来客ターゲットがはっきりしていない
○来客は地元の人を中心で良い
○足湯のPRストーリーが見えない

〈施設環境問題〉

○老木の整備をやってほしい。
○看板が見えるように樹木の剪定をやってほしい
○花や木などの植栽があると良い
○芝生広場にしてほしい
○桃の木を植樹してほしい
○案内板・説明版などサインがほしい
○マレットゴルフ場の増設で大きな大会ができる
○日除け施設があると夏場は良い
○集会所・休憩所などの施設がほしい
○BBQ場の整備をしてほしい

〈ソフト事業問題〉

○食のサービスは是非必要
○地元らしいメニューや食材の検討が必要
○朝市の出店者は、できるだけ地元にしたい
○イベントも良いが、運営スタッフが不足
○イベントは管理会社の自主事業でやっているため、人もお金も限界がある

〈集客PR問題〉

○豊田市内の7か所で例年出張PRしているが、場所のPRのみ
○話題になるコト・モノがない
○手ぶらで来て楽しめる道具・備品がない
○キャラクターの積極的な活用をしていきたい
○駐車場はイベント時には満杯

【課題の整理】

○施設全体の景観見直し	**○施設の利用・運用の見直し**
○魅力ストーリーづくり	**○資源掘り起しの気運づくり**
○管理運営体制の見直し	**○地区民の協力気運づくり**

■第３回ワークショップ結果

第3回では「課題解決の参考アイディアの提示」を行い、その内容について意見交換及びアンケートを行いました。

【第３回「課題解決の参考アイディア」提示】

足湯
～いやされる空間へ～

・足湯に浸かっている時間は、気分が和らぐ雰囲気を醸し出す、癒しの環境づくり演出の事例を提示

癒しBGM
読み聞かせ
語り部講和
朗読会
落語会
講談
法話
弾き語り

広場・体育館
～あそべる空間へ～

・地域住民の健康をめざしたレクリエーションを導入し、大会開催などの地区全体の交流促進の事例を提示

マレットゴルフ
太極拳
ドッジボール大会
クロリティ大会
綱引き大会
鬼ごっこ大会

ふれあい広場全体
～おちつける空間へ～

・ふれあい広場全体を落ち着いた里山の風景を創りだす演出として、高木、花、芝生などの植栽デザイン事例を提示

森と緑の癒し風景
花の風景
マレットゴルフ場の芝生化
石畳の風景

年間主要イベント
～はじける空間へ～

・恒例で行われているイベント等に付加価値をつけるための演出として、ライトアップ効果、朝市の装飾効果、食の提供等の事例を提示

紅葉ライトアップ
おいでんまつり
朝市のグレードアップ
収穫祭
新メニュー開発

休憩所
～ほっとできる空間へ～

・里山風景をより効果的に演出する装置として、集会所、あずまや、ビオトープなどの事例を提示

集会ミニハウス
あずまや
鳥の巣箱
ビオトープ

体験教室
～たのしめる空間へ～

・平日の集客対策として、体験教室や講習会などの事例を提示

料理講習会
手芸講習会
フラワーアレンジメント
折り紙講習会
ビーズ講習会
粘土講習会

「第3回課題解決の参考アイディア提示」についてアンケート結果は以下の通りです。

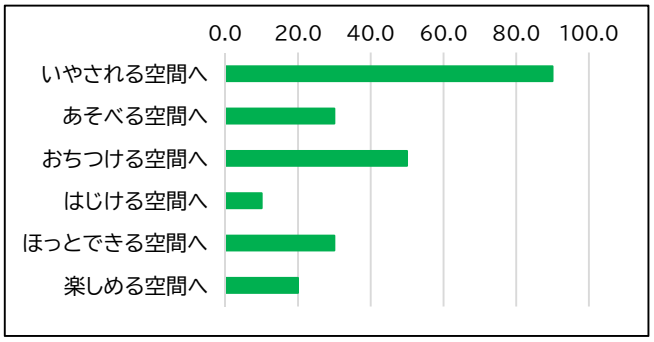
「空間イメージの好感度」については、「いやされる空間」が最も高い。その他でも「おちつける空間」の回答が高く、足湯や周辺環境との親和性のある空間づくりの好感度が高い傾向がみられる。

「アイディアの好感度」については、「面白そうだと思うもの」は、「癒しのBGM」「読み聞かせ」が高く、施設系では「あずまや」「集会ミニハウス」が高くなっている。

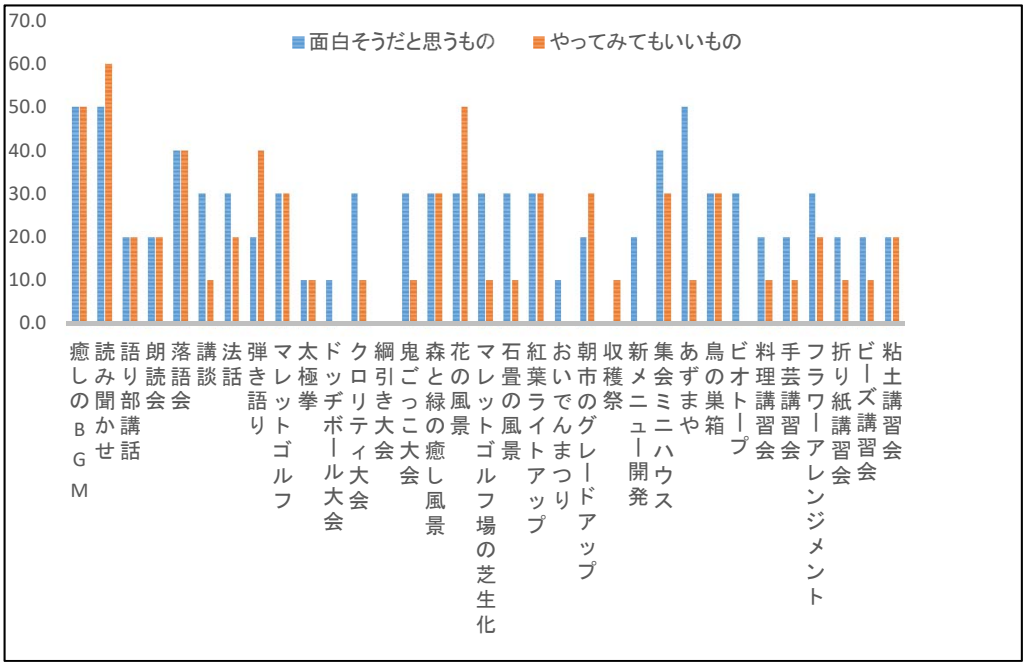
また、「やってみたいもの」は、「読み聞かせ」「癒しのBGM」が高く、環境系では「花の風景」が高くなっている。

スポーツレクリエーション系の回答は低くなっている。

【提示した空間イメージの好感度（複数回答）】



【提示したアイディアの好感度（複数回答）】



■第４回ワークショップ結果

第4回のワークショップでは、「第3回課題解決の参考アイディア提示」についての自由意見及び包括的な意見交換を行い、以下の通りとなりました。

【運営管理】

〇組織の継続性を確保するための人材発掘を組織化
〇今のメンバー・予算でできるものから取り掛かりたい
〇行政の縛りをまずやめてほしい
〇地域づくり協議会の独自性をルールの中で尊重してほしい。
〇ボランティアでは限界があり、予算をつける又は収益事業を認めるなりしてプランを実現できる
〇運営員の増加
〇協議会役員や部員たちの意思を尊重して企画を考えていきたい
〇「ふれあいと健康づくり」が広場のテーマだと思っていたが、周知されていないようなので、あらたにストーリーを考えてテーマを掲げてもよいと思う。再度協議会メンバーで話し合いが必要ではないかと考えます

【事業展開】

〇広場の利用はもっと多くの住民に聞くべきではないか
〇しずかに過ごせる場所にしたい
〇世代によってコンセプトは変化するかもしれない
〇足湯は「癒しスポット」、広場は「健康スポット」
〇コンセプトは「森の鼓動」
〇ランドスケープデザインなど専門家からの知識は必要

【施設環境】

〇花は好きな人から無償提供でどうか
〇石畳の名所の説明と石畳の散策路をつくる
〇広場に隣接して道の駅がほしい

【ソフト事業】

〇地区民との協力機運づくりについて、8自治区ブースを作ってそれぞれのブースをまかせてみる
〇マレットの芝生化されていない理由がないか
〇朝市で餅つき・石焼き芋はすぐできそう
〇地元の陶芸家に体験教室を実施してもらう
〇平日にも人に集まってもらえる何かをもっと考えたい
〇朝市の延長で出店協力を仰ぎ、食及び地元食材をつかった商品開発

【集客PR】

〇認知度がまだまだ低い
〇転入住民への対応

【その他】

〇できることだけ提案してほしい

11. 課題とめざす方向性

（1）各計画やワークショップから導き出された課題

【豊田市観光実践計画より】
〇計画では基本理念のサブフレーズで「観光でかがやき、観光がまちを一つにする」とあり、視点において「観光の魅力づくり」「地区間連携」「観光振興の仕組みづくり」による観光の活性化が望まれている。

【藤岡地区まちづくりビジョンより】
〇ビジョンにおいて、石畳ふれあい広場に直接的に関連する内容として、「人づくり」「生きがいづくり」「地域で支えあう子育て」「地域資源の活用」が求められている。

【ふじおか回遊促進計画より】
〇計画では、めざす姿を「ふじおかの魅力や資源をストーリーでつなぎ合わせて発信する」として、石畳足湯の有効活用の「基本的な考え方」には、既存イベントとの連携・さらなる集客の促進・経済的な効果を高める工夫と推進が必要とされている。

【石畳ふれあい広場の利用者数より】
〇藤岡地区は人口が年々減少傾向となっていること、また、石畳ふれあい広場の入込客数も年々減少傾向となっていること、さらに、他地区の観光施設も減少傾向となっていることを踏まえ、利用者減少を食い止める必要がある。
〇石畳ふれあい広場の4つの施設（足湯、広場、マレットゴルフ場、体育館）において、それぞれの利用頻度を高めるために季節別、月別、催事別に魅力を付加していく必要がある。

【ワークショップの結果より】
〇ワークショップでの課題は「施設全体の景観見直し」「施設の利用・運用の見直し」「魅力ストーリーづくり」「資源掘起こしの気運づくり」「管理運営体制の見直し」「地域住民の協力気運づくり」に集約された。
〇これらの課題を関係者すべてが積極的に関与し、着実に遂行していく必要がある。

（2）めざす方向性

【石畳ふれあい広場の魅力】
〇山間の里山として落ち着いた佇まいの空間を持っている
〇周辺の観光スポットを回遊する際、休憩場所として利用できる立寄りルートにある
〇短時間でも楽しめる足湯、朝市、マレットゴルフ場、広場空間のある遊び場機能を持っている
〇季節ごとの恒例イベントが開催され、地域住民や地区外からの来訪者が一定数いる
〇年間延べ5万人ほどが利用している

◆これらの魅力にさらなる価値を加えることで、地域住民や地区外の人にも親しまれる空間に発展させることをめざします。

12. 長期計画

（1）取組の柱

利用者の促進を図るためには、地域住民の利用を高めることが必要となります。利用経験者の再来性を上げると共に、未利用者の利用促進を図ることが必要と考えられます。

他方で、近隣地域（豊田市内含む）や名古屋市及び岐阜県東濃地域等からの利用者を拡大していくことが重要となります。このためには、施設の魅力度を高めること、さらには満足度を高める工夫を続けていかなくてはなりません。

長期計画の取組においては、4つの整備事業を定め、それぞれの事業には10年間をかけて逐次推進していくものとします。

◆観光施設として魅力ある景観づくり
観光施設としての風景価値の創造を目指して、広場全体の風景や修景等を整備していく。

◆話題づくりのための付加価値
感染症対策に配慮した足湯、朝市、イベント等の話題となり得るさまざまな遊び場機能に付加価値を加えていく。

◆立ち寄りたくなる魅力情報の発信
話題になる出来事をストーリー化させる仕組みを整えて、内外に積極的に発信していく。

◆住民参加で支える運営の仕組み
地域住民が楽しんで参加し支援ができる運営体制の仕組みを整えていく。

（2）指標

年間利用者数

48,900人（2019年度）⟶ **59,000人**（2030年度）

（３）具体的な取組

４つの取組では「景観づくり（環境整備・修景整備）」「話題づくり」「情報発信」「住民参加」として設定しましたが、これらを事業展開していくには、実現可能となるものから着手していくなど状況に応じて、柔軟に推進していくことが大切です。

事業化検討項目は多岐に渡り、なおかつ長期にわたることが予想されるため、社会状況やニーズの変化が生じた場合には事業内容の変更や中止・延期といった判断も必要となってきます。

１.景観づくり

〈環境整備〉

（１）樹木剪定・植栽植替え事業
古木や枯れ木等の樹木の剪定事業や花木等植栽の植替え事業

（２）マレットゴルフ場整備事業
マレットゴルフコースの増設事業および既存ゴルフコースのリニューアル整備事業

（３）休憩所計画・整備事業
休憩所、イベントブース等の多機能な利活用を想定した施設の計画と整備事業

〈修景整備〉

（１）修景デザイン魅力向上事業
既存・新設の施設、修景物、植栽等の配置・形状・色彩を整備する事業

（２）ライトアップ魅力向上事業
紅葉まつり時のライトアップ以外に、季節イベントに合わせたライトアップ事業

（３）休憩所運用利活用事業
休憩所や集会所の運用手法を考えた、体験イベントの利活用運用事業

２.話題づくり

（１）足湯魅力向上事業
癒し音楽や読み聞かせ等の演出イベント事業

（２）朝市魅力活性化事業
地元出店者、出品物、開催回数等の魅力向上のための運用活性化事業

（３）マレットゴルフ場利活用向上事業
会員以外の利用促進やマレットゴルフ競技大会の誘致等の利活用向上事業

（４）広場・体育館の運用利活用向上事業
ドッジボール大会や輪投げ大会等のスポーツレクリエーションの利活用向上事業

（５）既存イベント連携型の新規イベント事業
朝市や紅葉まつりなど既存イベントと連携した新しいイベント事業

（６）飲食サービス提供事業
地元産品を活用したメニューの開拓や地域内外からの出店者による飲食サービス提供

３.情報発信

（１）PR発信支援体制づくり
地元ならではの話題づくりや発信手段を検討するPR体制づくり計画

（２）広報宣伝ツール見直し計画
印刷物、SNS等の宣伝ツールを検討するPR計画

４.住民参加

（１）運営体制向上計画
人員、業務内容等の見直し及び規制事項等の見直しを再検討する運営計画

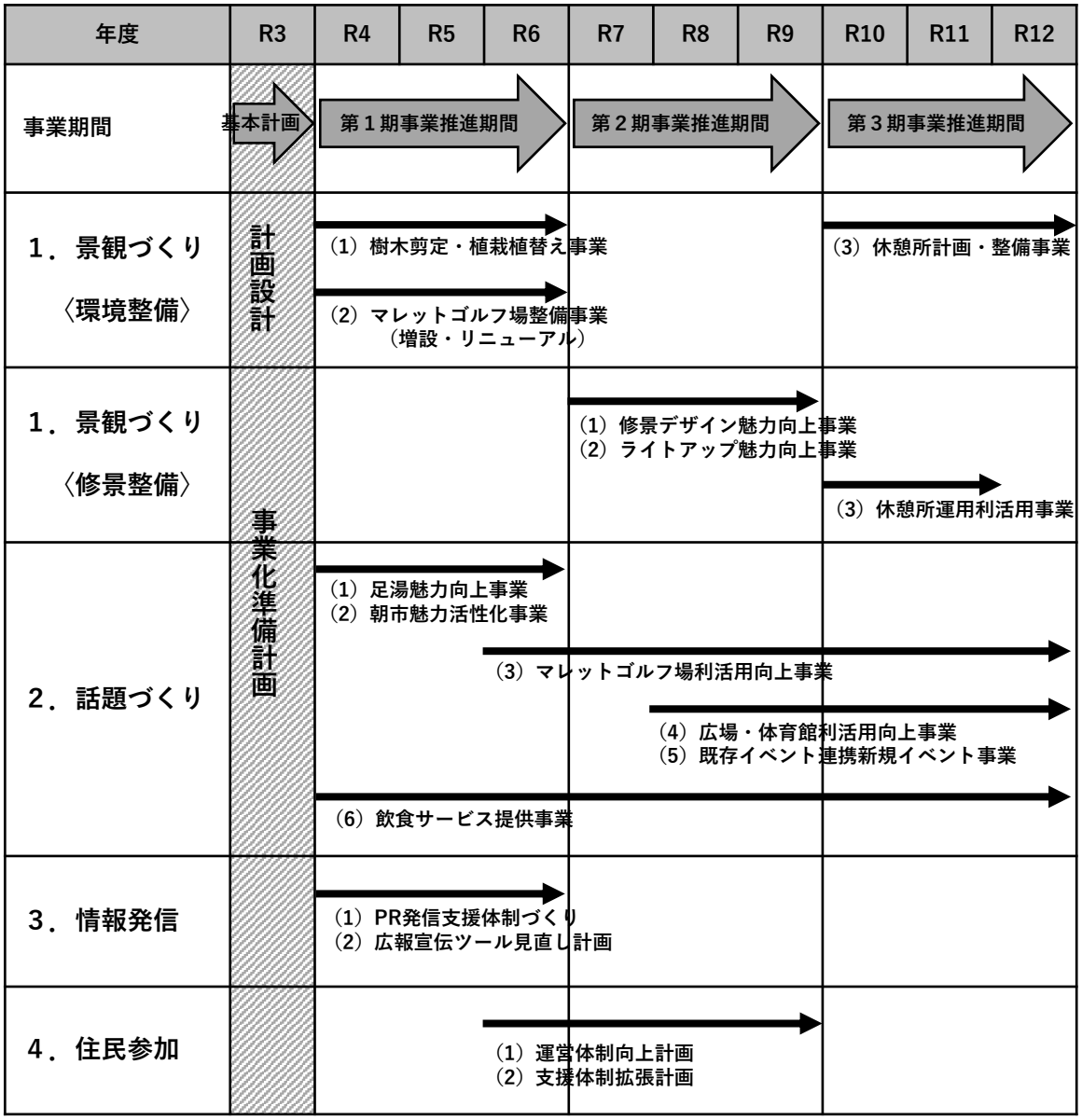
（２）支援体制拡張計画
ふれあい広場の魅力維持に貢献してくれる団体やアドバイザー等の支援体制づくり計画

（4）事業スケジュール

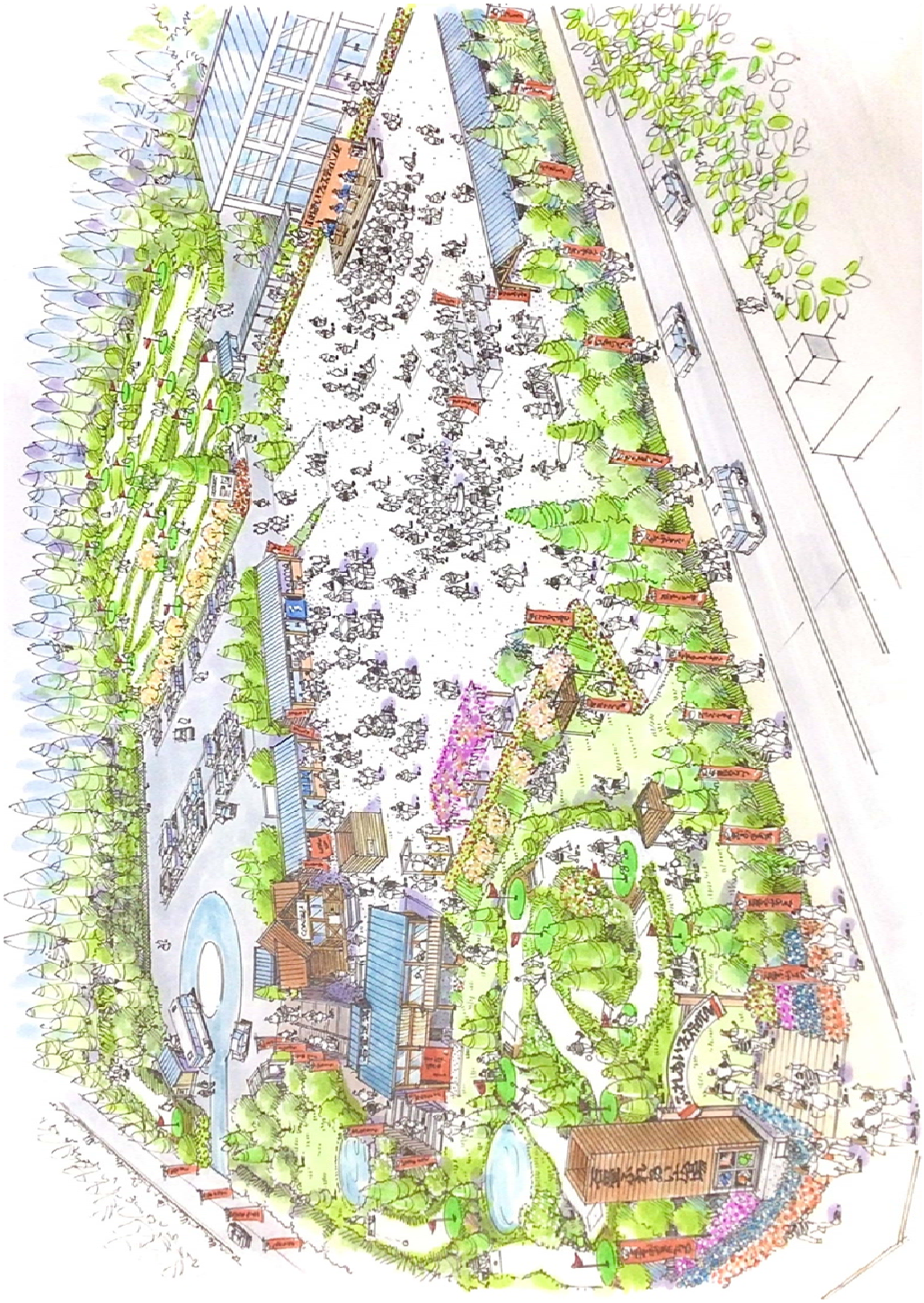
多岐にわたる事業は、地区民の意識課題、人員課題、人材課題、費用課題等を解決しながら進めなければならないため、それぞれの検討項目の実現可能性を精査していく必要があります。

この事業スケジュールは概ね10年間として初年度は事業化準備期間とし、その後は事業の内容に応じて3年ごとに区切り、第1期から第3期までの推進期間として位置付けます。

【工程】



（５）ふれあい広場全体景観の将来イメージ



（6）足湯話題づくりの演出イメージ

足湯で映像・音楽を流しながら「読み聞かせ」をしている演出イメージ

〈演出イベントの参考事例〉

〈癒しBGMとBGV〉

〈読み聞かせ〉

〈語り部講和〉

〈法話〉

〈弾き語り〉

（７）事業化への検討項目

事業化を推進していくためには、行政側、運営担当者側、地区民側等の関係者に加え、その都度専門家を交えた会議体で進めることが望ましいと考えます。

また、それぞれの事業の検討においては、実現可能であるかどうかの精査が必要となり、その結果として実行推進事業、内容変更事業、延期・中止事業等に選別をした上で進めていくことになります。

さらに、事業化への課題解決には、目的・需要度・運営体制・規模・費用・管理・効果等の基本的課題に配慮しながら魅力向上への研究・検討をする必要があります。事業化への検討・事業の実施・事業の継続へと長期に渡って推進していくことで、親しまれる空間として成長していきます。

広場全体の環境整備計画設計・事業化準備計画
《検討項目》 ・樹木剪定・植栽植替えの設計 ・マレットゴルフコースの新規増設計画（配置、コース、修景） ・既存マレットゴルフコースのリニューアル計画 （コース改修、芝生、植栽検討） ・ゴルフコースの受付所、掲示板、看板、倉庫等の付帯設備の計画 ・広場全体の景観づくり ・サイン、看板等の見直しリニューアル計画 ・飲食系の出店可能性調査 〈ふれあい広場全体の現況〉

１.景観づくり〈環境整備〉

（１）樹木剪定・植栽植替え事業

《検討項目》
・樹木の調査・剪定実施
・新規植込み樹木の樹種検討、植え込み実施
・花木等植栽の樹種、配置検討
・花木等植栽の植替え実施

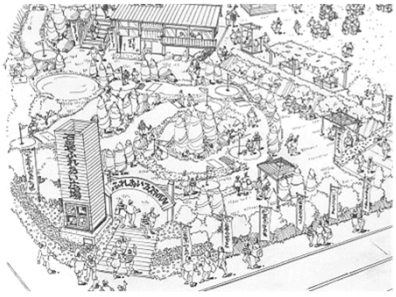
〈高木の現況〉

〈植栽の現況〉

１.景観づくり〈環境整備〉

（２）マレットゴルフ場整備事業

《検討項目》
・マレットゴルフコースの新規増設の整備（18ホール）
・既存のマレットコースのリニューアル整備（18ホール）
・受付所、掲示板、看板、倉庫等の付帯設備の整備



〈新規マレットゴルフ
コースの候補地想定〉

〈既存マレットゴルフコースの現状〉

〈芝生化されたパター
ゴルフ場イメージ〉

１.景観づくり〈環境整備〉

（３）休憩所計画・整備事業

《検討項目》
・休憩所、日除け施設、イベント出店ブース機能等の検討
・景観づくりに合わせた休憩所施設計画・整備
・休憩所の整備

〈回廊施設イメージ〉

〈休憩所施設イメージ〉

１.景観づくり〈修景整備〉

（１）修景デザイン魅力向上事業

〈検討項目〉
・施設の現状把握と機能の検討
・案内所、体育館、倉庫棟、マレットゴルフ場案内所等の既存施設のデザイン見直し計画
・入口部広告塔、掲示板等の見直し計画・警備
・サイン、のぼり、遊具、ベンチ等の修景物のデザイン計画・整備

〈足湯壁面現況〉

〈朝市売り場現況〉

〈体育館壁面現況〉

〈藤棚現況〉

〈広告塔現況〉

〈説明板現況〉

１.景観づくり〈修景整備〉

（２）ライトアップ魅力向上事業

《検討項目》
・現状の紅葉ライトアップイベントの効果検証
・紅葉ライトアップの魅力向上計画と実施（演出デザイン、BGM、イベント付加等）
・集客対策のための、新規ライトアップ時期や演出手法の計画と実施

〈足湯紅葉ライトアップの現況〉

〈ライトアップ参考イメージ〉

１.景観づくり〈修景整備〉

（３）休憩所運用利活用事業

〈検討項目〉
・休憩所の利活用において、利用者のニーズと指導者の存在確認調査
・地元民の教室参加意向調査
・運用計画・実施
・参考例
　料理講習会
　手芸講習会
　フラワーアレンジメント
　折り紙講習会
　ビーズ講習会
　粘土講習会
　ミニコンサート

〈ミニコンサートイメージ〉

〈フラワーアレンジメントイメージ〉

〈折り紙教室イメージ〉

〈粘土教室イメージ〉

2.話題づくり

（1）足湯魅力向上事業

〈検討項目〉
・足湯の利用者属性調査と評価調査
・演出計画とイベントお試し実施
・コンセプトの設定、キャッチフレーズの設定
・タオル等のグッズ販売の可能性検討
・演出イベントの参考事例
　癒しBGM　　読み聞かせ
　語り部講和　　落語会
　法話　　弾き語り

〈法話集〉
お釈迦さまの三つの質問
七種類の妻
着飾った仏さまたち
六方礼の教え
仏のかたよりおこなわれる
お釈迦さまの秘書
童謡「しゃぼん玉」
よき友を得る

〈癒しBGMとBGV〉

〈読み聞かせ集〉

〈弾き語り〉

2.話題づくり

（2）朝市魅力活性化事業

〈検討項目〉
・朝市の出店者及び利用者の属性調査と評価調査
・朝市出店者で地元からの参加可能性調査
・出店テント、自家用車乗り入れ等の運用検討と実施
・朝市の魅力向上アイディア計画とお試しイベント実施

〈統一されたテントイメージ〉

〈カラフルなテントイメージ〉

〈花の販売イメージ〉

〈実演販売イメージ〉

〈販売ディスプレイイメージ〉

2.話題づくり

（3）マレットゴルフ場利活用向上事業

〈検討項目〉
・利用者層の拡大及び増加促進の検討・実施
・地元親子マレットゴルフ大会等のイベント開催検討・実施
・マレットゴルフ競技大会開催の検討と誘致活動・実施
・マレットゴルフと他施設への回遊性検討・実施

〈親子参加の利用イメージ〉

〈北海道パークゴルフとの親善大会〉

〈長野県知事杯市町村対応
マレットゴルフ大会〉

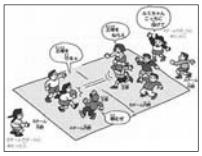
2.話題づくり

（4）広場・体育館の運用利活用向上事業

〈検討項目〉
・現状の施設利用状況調査及び評価調査
・広場の利活用レクリエーションの可能性検討・実施
・体育館の利活用レクリエーションの可能性検討・実施
・現状のイベントにおける集客力向上の検討・実施
　（朝市、花桃まつり、盆踊り、自治区祭り、紅葉まつり他）
　（剣道合宿、地区老連軽スポーツ大会）
・新規のスポーツレクリエーションの可能性検討・実施
　太極拳　　ドッジボール大会
　クロリティ大会　　綱引き大会
　鬼ごっこ大会　など

〈太極拳参考イメージ〉

〈ドッジボール大会参考イメージ〉



〈クロリティ大会参考イメージ〉

〈綱引き大会参考イメージ〉

2.話題づくり

（5）既存イベント連携型の新規イベント事業

《検討項目》
・既存催事と連携した新規イベントの検討・実施

〈既存イベント〉

毎月の朝市	盆踊り大会（8月）
毎月マレットゴルフ大会	紅葉まつり（11月）
お正月の松飾り（1月）	餅つき大会（12月）
花桃まつり（4月）	出張足湯（随時）

〈大道芸パフォーマンス〉

〈名古屋大学相撲大会〉

〈太鼓隊演舞〉

〈サイコロゲーム〉

〈輪投げゲーム〉

〈白バイ隊交通安全教室〉

〈ボール投げゲーム〉

2.話題づくり

（6）飲食サービス提供事業

〈検討項目〉
・地元ゆかりの産品やメニューの調査・交渉
・新メニューの開拓検討・実施
・出店者の新たな勧誘活動・実施

〈地元五平餅〉

〈地元焼きそば〉

〈地元農産品〉

３.情報発信
（１）PR発信支援体制づくり
〈検討項目〉 ・現状のPR手法と体制の洗い出し検討 ・地元ならではの話題づくりの収集・編集体制の検討 ・SNS賛同者や情報発信者の募集拡大の勧誘活動 ・藤岡観光協会との連携の検討・組織体の結成 ・ストーリーづくりの検討・実施 ・合宿や団体体験者の募集活動
３.情報発信
（２）広報宣伝ツール見直し計画
〈検討項目〉 ・PR印刷物のデザイン編集手法の見直し検討・実施 ・チラシ、配布物等の配布先・掲出先の見直し検討・実施 ・SNSの発信手法の検討・実施 ・PRキャラバンの手法の検討・実施

４.住民参加
（１）運営体制向上計画
〈検討項目〉 ・運営要員及び業務内容の洗い出し検討 ・ふれあい広場管理規定等の洗い出し検討 ・イベント実施時の現状要員と業務範囲の見直し検討 ・運営体制づくりと運営計画
４.住民参加
（２）支援体制拡張計画
〈検討項目〉 ・地区協議会の支援貢献方法の洗い出し検討 ・新規支援組織隊の可能性検討 ・近隣小中学生の支援方法の可能性検討 ・支援組織体の定例会議開催

豊田市石畳ふれあい広場長期計画

策定　2021年3月
編集　豊田市役所地域振興部　藤岡支所
〒470-0493　豊田市藤岡飯野町田中245番地
Tel　0565-76-2102　Fax　0565-76-4852
E-mail　fujioka-shisho@city.toyota.aichi.jp